

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	言語コミュニケーション文化研究科
大項目	9 教育研究等環境 (研究科)
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 大学院学生共同研究室の情報環境の充実を図るため、2010年度を目標にパソコンを5台増設する。	→ PC等の設備・機器の整備状況。	A	A	A		
2. 教員共同研究室の情報環境の充実のため、2010年度を目標にパソコンを2台増設する。	→ PC等の設備・機器の整備状況。	B	A	A		
3. 学生の学外での研究活動を促進するため、学会発表に関わる交通費補助制度を拡充する。	→ 学会活動支援制度の制定、実施。	A	A	A		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2012年度秋学期より、現行のG号館学生共同研究室 (57㎡) に加えて、全学共用棟に学生共同研究室 (43㎡) を増設し、学生が研究や実験のために利用できる環境を拡充する予定である。
目標2	2012年度秋学期より、現行のG号館教員共同研究室 (28㎡) を日本語教育センターに移管することとなった。これにともない、全学共用棟に本研究科の教員共同研究室を2室 (43㎡および21㎡) 設置する。これによって、教員が共同研究を行うスペースと、機器・装置を利用して実験を行うスペースをそれぞれ確保できることとなった。
目標3	院生の学会発表に対する交通費補助を実施することにより、研究水準の維持・向上をはかっている。
備考	